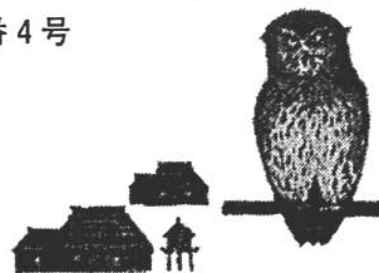


財団法人アイヌ民族博物館 北海道白老町若草町2丁目3番4号

# コタンメール

第22号 平成17年12月15日 発行



## 企画展「西平ウメとトンコリ」好評開催中！

2006年1月23日（月）まで開催

※ 白老町民は無料

10月29日（土）から「西平ウメとトンコリ」展を当館特別展示室で開催しております。

樺太アイヌの弦楽器トンコリをテーマとしたこの展示では、樺太出身のトンコリ奏者、西平ウメさんの生い立ちをパネルで紹介、西平さんが製作、使用した着物や小物などの資料や、道内の博物館などに所蔵されているトンコリを展示しています。

また、トンコリ演奏法のビデオを見ながら実際にトンコリを奏でたり、トンコリの演奏曲や、トンコリの制作工程のビデオを視聴することができます。

「見て」、「触れて」、「聴いて」トンコリのことを学ぶことができるこの展示に、遠方からもお客さんが見えています。（木田瑞恵）



### ミュージアムトーク

企画展開催初日の10月29日（土）、この展示を企画担当した北原学芸員によるミュージアムトークを行いました。

樺太生まれの西平ウメさんが、日本の敗戦によって北海道に移住させられたこと、故郷で覚えたトンコリを奏でたことが、今日のトンコリの伝承と普及につながったことを中心に、展示にそってトンコリの構造や演奏について話しました。（木田瑞恵）



ミュージアムトークのようす

# へまた・てまな

へまた＝なに、てまな＝どのように……樺太方言

## 新しい年

今年も残すところわずかとなり、お正月が近づいてきました。今では、お正月のキーワードといえば「雑煮」「お年玉」「かるた」「かがみ餅」「おせち」ですが、少し昔の「新年」とはどういうものだったのでしょうか。

アイヌ語で「年」のことを「パ」といいます。これに「サク＝夏」や「マタ＝冬」をつけた「サクパ＝夏年」、「マタパ＝冬年」という表現があります。昔は、太陽や月の動きではなく、仕事の節目によって季節を区切っていました。春先、雪が消える頃をサクパの始まり、秋の終わりに雪が降り始める頃をマタパの始まりと考えました。この季節の変わり目が「年越し」にあたるので、今の感覚にたらずと年に2回「年越し」があったこととなりますね。

年越しには、大きなお祭りが行われました。お祭りには親戚が集り、「新しいイナウ」を作ってカムイや先祖の霊にささげ、「シト（だんご）」や「ラタシケブ（煮合え料理）」、「トノト（お酒）」といったご馳走を食べ、歌ったり踊ったりのレクリエーションを行いました。おそらくこれが昔のお正月の風物だったのでしょうか。

時代が下り、日本人が北海道で暮らすようになると、私達も日本の文化を取り入れ、年越しの形も変わってきました。秋の祭りにお正月の意味も込めて祝うところ（千歳上流）、秋の祭りをずらし、お正月に両方兼ね合わせて祝うところ（美幌）、旧正月と合わせたところ（鶴川、様似）など地域によっていろいろな形でお正月を取り入れました。ここでは、北海道教育委員会が作成した『アイヌ民俗文化財調査報告書』（通称青本）のシリーズに語られている各地の事例のうちから、様似の例を紹介します。※は引用に際しての註です。

「2月15日、毎年、タカミ・ヨシジロウさんが中心になって、サンベツの崎でカムイノミ kamuy nomi というのをやった。サンベツの崎に立てば四方が見渡せるので、ここでやったのだと思う（サンベツの崎は沖に出た漁師の目標になった）。2月は今で言えば年度替りだ。これからの1年も無事漁をさせてくれと酒や魚を捧げて祈る。出かける前に必要なイナウを全て作っておき、またカムイエカシ（※1）の新しいイナウも作っておく。家からは、イナウ、酒、魚、トウキ tuki などを持っていく。落度なく必要なものを全部持っていく。又サ（※2）のある窓を外し、そこからこれらのものを出す。サンベツの崎の山に又サがあって、そこに酒をささげ、イナウ、魚をおさめた。それから、タカミ・ヨシジロウさんの家に帰り、皆で酒を飲み、ご馳走を食べる。はねて踊ったりもした。これはアイヌの漁師の祭だ。サンベツは白泉の近く、幌別川のこちらがわにある岬だ。」

（北海道教育委員会『アイヌ民俗文化財調査報告書』XIV、1994年、より）

※1 カムイエカシ＝家族の守り神

※2 又サ＝祭壇

（北原次郎太）

## アイヌ文化講座のご案内

- 1月21日(土) 13:30～ 講師：スチュアート ヘンリ(本多 俊和)氏(放送大学教養学部教授)
- 2月25日(土) 13:30～ 講師：常本 照樹氏(北海道大学大学院法学研究科教授)
- 3月11日(土) 13:30～ 講師：山田 伸一氏(北海道開拓記念館学芸第三課学芸員)

参加お申し込み・お問い合わせは、学芸課 TEL 0144-82-4199 までご連絡ください。